4 材料費の計算と記帳 ▷P.21～

4－1

(1)～素材・買入部品・燃料・工場消耗品・消耗工具器具備品（順不同）
(2)～素材・買入部品（順不同）
　　燃料・工場消耗品・消耗工具器具備品（順不同）
(3)～材料・材料
(4)～棚卸減耗
(5)～継続記録・棚卸計算・繰越数量・受入数量・実地棚卸数量
(6)～予定価格
　　先入先出・移動平均・総平均（順不同）
(7)～材料消費価格差異・不利・有利

4－2

(1)	素　　材	546,000	買 掛 金	546,000
(2)	買入部品	280,000	当座預金	280,000
(3)	燃　　料	20,000	支払手形	180,000
	工場消耗品	160,000		
(4)	消耗工具器具備品	18,000	現　　金	18,000

4－3

(1)	製　　造	310,000	素　　材	240,000
			買入部品	70,000
(2)	製造間接費	90,000	燃　　料	24,000
			工場消耗品	48,000
			消耗工具器具備品	18,000
(3)	製　　造	360,000	素　　材	400,000
	製造間接費	40,000		
(4)	棚卸減耗損	6,000	素　　材	6,000

4－4

(1)	素　　材	500,000	現　　金	300,000
			買 掛 金	200,000
(2)	製　　造	400,000	素　　材	400,000
(3)	燃　　料	74,000	現　　金	74,000
(4)	買入部品	160,000	当座預金	210,000
	工場消耗品	50,000		
(5)	製　　造	120,000	買入部品	120,000
(6)	製造間接費	125,000	燃　　料	80,000
			消耗工具器具備品	45,000
(7)	製造間接費	80,000	工場消耗品	80,000

素　　材

前月繰越	50,000	製　　造	400,000
諸　　口	500,000		

買入部品

当座預金	160,000	製　　造	120,000

燃　　料

現　　金	50,000	製造間接費	80,000
〃	74,000		

工場消耗品

買 掛 金	75,000	製造間接費	80,000
当座預金	50,000		

消耗工具器具備品

買 掛 金	65,000	製造間接費	45,000

製　　造

前月繰越	270,000		
素　　材	400,000		
買入部品	120,000		

製造間接費

諸　　口	125,000		
工場消耗品	80,000		

4－5

（先入先出法）

材　料　元　帳
A　素　材

平成○年		摘要	受入 数量	受入 単価	受入 金額	払出 数量	払出 単価	払出 金額	残高 数量	残高 単価	残高 金額
8	1	前月繰越	100	400	40,000				100	400	40,000
	6	受入	150	440	66,000				100	400	40,000
									150	440	66,000
	13	払出				100	400	40,000			
						100	440	44,000	50	440	22,000
	15	受入	150	552	82,800				50	440	22,000
									150	552	82,800
	20	払出				50	440	22,000			
						75	552	41,400	75	552	41,400
	28	払出				50	552	27,600	25	552	13,800
	31	次月繰越				25	552	13,800			
			400		188,800	400		188,800			
9	1	前月繰越	25	552	13,800				25	552	13,800

消費高　¥ 175,000

考え方

消費高　¥188,800－¥13,800＝¥175,000
または
¥40,000＋¥44,000＋¥22,000＋¥41,400＋¥27,600
＝¥175,000

〈先入先出法〉
先に受け入れたものから先に払い出したものとして記帳する方法。

（移動平均法）

材　料　元　帳
A　素　材

平成○年		摘要	受入 数量	受入 単価	受入 金額	払出 数量	払出 単価	払出 金額	残高 数量	残高 単価	残高 金額
8	1	前月繰越	100	400	40,000				100	400	40,000
	6	受入	150	440	66,000				250	424	106,000
	13	払出				200	424	84,800	50	424	21,200
	15	受入	150	552	82,800				200	520	104,000
	20	払出				125	520	65,000	75	520	39,000
	28	払出				50	520	26,000	25	520	13,000
	31	次月繰越				25	520	13,000			
			400		188,800	400		188,800			
9	1	前月繰越	25	520	13,000				25	520	13,000

消費高　¥ 175,800

考え方

消費高　¥188,800－¥13,000＝¥175,800
または
¥84,800＋¥65,000＋¥26,000＝¥175,800

〈移動平均法〉
受入金額と残高金額の合計を，受入数量と残高数量の合計で割り，その平均単価を払出単価として記帳する方法。

4－6

（総平均法）

材　料　元　帳
B　素　材

平成○年		摘要	受入 数量	受入 単価	受入 金額	払出 数量	払出 単価	払出 金額	残高 数量	残高 単価	残高 金額
10	1	前月繰越	80	300	24,000				80	300	24,000
	5	受入	120	330	39,600				200		
	10	払出				100	336	33,600	100		
	15	受入	400	345	138,000				500		
	20	払出				200	336	67,200	300		
	25	払出				220	336	73,920	80	336	26,880
	31	次月繰越				80	336	26,880			
			600		201,600	600		201,600			
11	1	前月繰越	80	336	26,880				80	336	26,880

消費高	¥ 174,720

考え方

払出単価

$\frac{¥201,600}{600個} = ¥336$

または

$\frac{¥24,000 + ¥39,600 + ¥138,000}{80個 + 120個 + 400個} = ¥336$

消費高

¥201,600 − ¥26,880 = ¥174,720

または

¥33,600 + ¥67,200 + ¥73,920 = ¥174,720

〈総平均法〉

繰越金額と受入金額の合計を，繰越数量と受入数量の合計で割り，その平均単価を払出単価として記帳する方法。

4－7

(1) 移動平均法で消費単価の計算をした場合

6／10の払出金額	¥ 160,000
6／26の払出金額	¥ 117,900

(2) 先入先出法で消費単価の計算をした場合

6／10の払出金額	¥ 159,500
6／26の払出金額	¥ 118,300

(3) 総平均法で消費単価の計算をした場合

6月末の繰越高	¥ 45,640

考え方

(1) 6／10 $\frac{¥62,000 + ¥130,000}{100個 + 200個} = ¥640$

¥640 × 250個 = ¥160,000

6／26 $\frac{¥32,000 + ¥99,000}{50個 + 150個} = ¥655$

¥655 × 180個 = ¥117,900

(2) 6／10 ¥62,000 + (¥650 × 150個) = ¥159,500

6／26 (¥650 × 50個) + (¥660 × 130個) = ¥118,300

(3) $\frac{¥62,000 + ¥130,000 + ¥99,000 + ¥35,000}{100個 + 200個 + 150個 + 50個} = ¥652$

¥652 × 70個 = ¥45,640

4－8

①消費材料勘定を設ける場合

(1)	素　　材	700,000	買 掛 金	700,000
(2)	製　　造	550,000	消費材料	556,000
	製造間接費	6,000		
(3)	消費材料	551,000	素　　材	551,000
(4)	消費材料	5,000	材料消費価格差異	5,000
(5)	材料消費価格差異	5,000	売上原価	5,000

素　　材

買掛金	700,000	消費材料	551,000

消　費　材　料

素　　材	551,000	諸　　口	556,000
材料消費価格差異	5,000		

製　　造

消費材料	550,000		

製　造　間　接　費

消費材料	6,000		

材料消費価格差異

売上原価	5,000	消費材料	5,000

売　上　原　価

		材料消費価格差異	5,000

考え方

予定消費高（消費材料勘定の貸方）が，実際消費高（消費材料勘定の借方）より大きい点に注意。

予定消費高が大きいときは，材料消費価格差異は貸方に発生し，実際消費高が大きいときは，借方に発生する。

②消費材料勘定を設けない場合

(1)	素　　材	700,000	買 掛 金	700,000
(2)	製　　造	550,000	素　　材	556,000
	製造間接費	6,000		
(3)・(4)	素　　材	5,000	材料消費価格差異	5,000
(5)	材料消費価格差異	5,000	売上原価	5,000

素　　材

買掛金	700,000	諸　　口	556,000
材料消費価格差異	5,000		

製　　造

素　　材	550,000		

製　造　間　接　費

素　　材	6,000		

材料消費価格差異

売上原価	5,000	素　　材	5,000

売　上　原　価

		材料消費価格差異	5,000

4－9

(1)	素　　材	600,000	現　　金	250,000
	買入部品	350,000	買 掛 金	700,000
(2)	素　　材	364,000	支払手形	364,000
(3)	製　　造	550,000	消費材料	550,000
(4)	工場消耗品	200,000	買 掛 金	200,000
(5)	製　　造	300,000	消費材料	300,000
(6)	製造間接費	130,000	消費材料	130,000
(7)	消費材料	990,000	素　　材	570,000
			買入部品	300,000
			工場消耗品	120,000
(8)	材料消費価格差異	10,000	消費材料	10,000
(9)	売上原価	6,000	材料消費価格差異	6,000

素　　材

前月繰越	132,000	消費材料	570,000
諸　　口	600,000	次月繰越	526,000
支払手形	364,000		
	1,096,000		1,096,000

買　入　部　品

前月繰越	34,000	消費材料	300,000
諸　　口	350,000	次月繰越	84,000
	384,000		384,000

工　場　消　耗　品

前月繰越	20,000	消費材料	120,000
買掛金	200,000	次月繰越	100,000
	220,000		220,000

消　費　材　料

諸　　口	990,000	製　　造	550,000
		製　　造	300,000
		製造間接費	130,000
		材料消費価格差異	10,000
	990,000		990,000

材料消費価格差異

消費材料	10,000	前月繰越	4,000
		売上原価	6,000
	10,000		10,000

売　上　原　価

材料消費価格差異	6,000		

考え方

(8) 材料消費価格差異

予定消費高＝

素材予定消費高＋買入部品予定消費高＋工場消耗品予定消費高

¥550,000＋¥300,000＋¥130,000＝¥980,000

実際消費高（¥990,000）＞予定消費高（¥980,000）

¥990,000－¥980,000＝¥10,000

4－10

素　材

前月繰越	20,000	(消費材料)	(265,000)
買掛金	280,000	棚卸減耗損	5,000
		次月繰越	30,000
	(300,000)		(300,000)
(前月繰越)	(30,000)		

工場消耗品

前月繰越	(10,000)	(消費材料)	(42,000)
買掛金	50,000	棚卸減耗損	3,000
		(次月繰越)	(15,000)
	60,000		(60,000)
(前月繰越)	15,000		

製　造

前月繰越	45,000	(製　品)	(700,000)
(消費材料)	(255,000)	次月繰越	50,000
労務費	250,000		
(製造間接費)	(200,000)		
	(750,000)		(750,000)
(前月繰越)	(50,000)		

製造間接費

(消費材料)	(40,000)	(製　造)	(200,000)
労務費	130,000		
経費	22,000		
棚卸減耗損	(8,000)		
	200,000		(200,000)

消費材料

(諸　口)	(307,000)	(諸　口)	(295,000)
		(材料消費価格差異)	(12,000)
	(307,000)		(307,000)

製　品

前月繰越	100,000	売上原価	650,000
(製　造)	(700,000)	(次月繰越)	(150,000)
	(800,000)		(800,000)
前月繰越	150,000		

棚卸減耗損

諸　口	8,000	(製造間接費)	(8,000)

材料消費価格差異

(消費材料)	(12,000)		

考え方

材料費（実際消費高）の仕訳

(借) 消費材料 307,000　(貸) 素　材 265,000
　　工場消耗品 42,000

製造間接費の配賦の仕訳

(借) 製　造 200,000　(貸) 製造間接費 200,000

材料費（予定消費高）の仕訳

(借) 製　造 255,000　(貸) 消費材料 295,000
　　製造間接費 40,000

4－11

a	b	c	
ア	イ	ウ	エ
7	3	4	6

4－12

(1)	消費材料	2,454,000	素　材	2,454,000
(2)	製　造	258,000	消費材料	276,000
	製造間接費	18,000		
(3)	製　造	2,250,000	素　材	2,375,000
	製造間接費	125,000		
(4)	材料消費価格差異	63,000	消費材料	63,000
(5)	材料消費価格差異	52,000	素　材	52,000
(6)	売上原価	1,000	材料消費価格差異	1,000
(7)	棚卸減耗損	46,000	買入部品	46,000

考え方

(1) 先入先出法

¥800×1,200個＋¥830×1,800個＝¥2,454,000

(2) ¥600×430個＝¥258,000…製造

¥600×30個＝¥18,000…製造間接費

(3) 総平均法による消費単価

$\frac{¥480,000+¥2,520,000}{800個+4,000個}$ ＝¥625

(4) 実際価格（総平均法）

$\frac{¥352,000+¥1,880,000}{400個+2,000個}$ ＝¥930

実際価格（¥930）＞予定価格（¥900）

実際価格による消費高の方が多いので，材料消費価格差異は借方に発生。

(5) 実際消費高（先入先出法）

¥440×1,800個＋¥500×6,200個＝¥3,892,000

実際消費高（¥3,892,000）＞予定消費高（¥3,840,000）

実際消費高の方が多いので，材料消費価格差異は借方に発生し，素材勘定で処理。

(6) 実際消費高が予定消費高より¥6,000少ないので，材料消費価格差異は貸方に発生。

材料消費価格差異

前月繰越高 ¥7,000	¥6,000
	¥1,000 → 売上原価勘定に振り替え

(7) 帳簿棚卸数量

500個＋1,000個－970個＝530個

530個（帳簿棚卸数量）－520個（実地棚卸数量）＝10個

10個×¥4,600＝¥46,000…棚卸減耗損

5 労務費の計算と記帳 ▷P.31～

5－1

(1)～給料・雑給・従業員賃与手当・退職給付費用・法定福利費（順不同）

(2)～直接・間接

(3)～製造・製造間接費

(4)～支払・消費・貸・当月未払

5－2

(1)	賃金	850,000	所得税預り金	85,000
			健康保険料預り金	35,000
			当座預金	730,000
(2)	製造	700,000	賃金	840,000
	製造間接費	140,000		

賃金

諸口	850,000	前月繰越	150,000
次月繰越	140,000	諸口	840,000
	990,000		990,000

当月賃金未払高 ¥ 140,000

5－3

①消費賃金勘定を設ける場合

(1)	製造	1,400,000	消費賃金	1,750,000
	製造間接費	350,000		
(2)	消費賃金	1,730,000	賃金	1,730,000
	消費賃金	20,000	賃率差異	20,000

賃金

		消費賃金	1,730,000

消費賃金

賃金	1,730,000	諸口	1,750,000
賃率差異	20,000		

製造

消費賃金	1,400,000		

製造間接費

消費賃金	350,000		

賃率差異

		消費賃金	20,000

②消費賃金勘定を設けない場合

(1)	製造	1,400,000	賃金	1,750,000
	製造間接費	350,000		
(2)	賃金	20,000	賃率差異	20,000

賃金

賃率差異	20,000	諸口	1,750,000

製造

賃金	1,400,000		

製造間接費

賃金	350,000		

賃率差異

		賃金	20,000

5－4

(1)	賃金	2,500,000	所得税預り金	236,000
	従業員賃与手当	650,000	健康保険料預り金	93,000
			当座預金	2,821,000
(2)	製造	1,532,000	消費賃金	2,300,000
	製造間接費	768,000		
(3)	消費賃金	2,400,000	賃金	2,400,000
(4)	賃率差異	100,000	消費賃金	100,000

5－5

(1)	製造	2,520,000	消費賃金	3,360,000
	製造間接費	840,000		
(2)	消費賃金	3,410,000	賃金	3,410,000
(3)	賃率差異	50,000	消費賃金	50,000
(4)	売上原価	50,000	賃率差異	50,000

考え方

(1) (2,200時間＋2,000時間＋1,400時間)×¥600＝¥3,360,000

(3) 実際賃金消費高（¥3,410,000）＞予定賃金消費高（¥3,360,000）

¥3,410,000－¥3,360,000＝¥50,000

5－6

(1)	賃金	1,890,000	所得税預り金	162,000
	従業員賃与手当	210,000	健康保険料預り金	98,000
			当座預金	1,840,000
(2)	製造	1,250,000	賃金	1,900,000
	製造間接費	650,000		
(3)	賃率差異	20,000	賃金	20,000

考え方

(3) 当月実際消費高＝当月支払高＋当月未払高－前月未払高

¥1,890,000＋¥310,000－¥280,000＝¥1,920,000

実際賃金消費高（¥1,920,000）＞予定賃金消費高（¥1,900,000）

5－7

(1)	当月賃金支払総額	¥ 520,000
(2)	当月予定賃金消費高	¥ 500,000
(3)	当月実際賃金消費高	¥ 490,000
(4)	前月賃金未払高	¥ 70,000
(5)	当月賃金未払高	¥ 40,000
(6)	当月賃率差異	¥ 10,000

考え方

(5) 当月賃金未払高＝賃金勘定貸方残高

貸方（¥70,000＋¥490,000）－借方¥520,000

＝¥40,000

(6) 当月賃率差異＝消費賃金勘定残高

貸方¥500,000－借方¥490,000＝¥10,000

5－8

貸　　金

諸　　口	869,000	前月繰越	240,000
次月繰越	230,000	諸　　口	859,000
	1,099,000		1,099,000

(1)	当月労務費	¥ 969,000
(2)	間接労務費発生高	¥ 127,000

考え方

貸金消費高　¥760,000＋¥109,000－¥240,000
（当月支払総額）　（前月未払高）
＋¥230,000＝¥859,000
（当月未払高）

(2) 間接賃金　¥859,000－¥842,000＝¥17,000
間接労務費　¥17,000＋¥96,000＋¥14,000＝¥127,000

5－9

(1)	貸　　金	750,000	所得税預り金	60,000
			健康保険料預り金	35,000
			当座預金	655,000
(2)	製造間接費	35,000	健康保険料	35,000
(3)	健康保険料	35,000	現　　金	70,000
	健康保険料預り金	35,000		

健康保険料

現　　金	35,000	製造間接費	35,000

健康保険料預り金

現　　金	35,000	貸　　金	35,000

考え方

健康保険料…労務費の勘定
健康保険料預り金…負債の勘定
支払うときは，事業主負担分と従業員からの預り分（従業員負担分）をまとめて支払う。

5－10

貸　　金

諸　　口	4,950,000	前月繰越	890,000
次月繰越	900,000	消費賃金	4,960,000
	5,850,000		5,850,000

消　費　賃　金

貸　　金	4,960,000	諸　　口	5,000,000
賃率差異	40,000		
	5,000,000		5,000,000

5－11

(1)	製造間接費	80,000	退職給付費用	80,000
(2)	退職給付費用	960,000	退職給付引当金	960,000
(3)	退職給付引当金	480,000	現　　金	480,000

退職給付費用

退職給付引当金	960,000		880,000
		製造間接費	80,000
	960,000		960,000

退職給付引当金

次期繰越	4,810,000	前期繰越	3,850,000
		退職給付費用	960,000
	4,810,000		4,810,000
現　　金	480,000	前期繰越	4,810,000

5－12

(1)	製造間接費	330,000	従業員賃与手当	330,000
(2)	従業員賃与手当	2,010,000	現　　金	2,010,000
(3)	売上原価	30,000	従業員賃与手当	30,000

従業員賃与手当

現　　金	1,980,000		3,630,000
現　　金	2,010,000	製造間接費	330,000
		売上原価	30,000
	3,990,000		3,990,000

5－13

(1)	貸　　金	1,276,000	所得税預り金	125,000
	従業員賃与手当	256,000	健康保険料預り金	56,000
			当座預金	1,351,000
(2)	製　　造	800,000	消費賃金	975,000
	製造間接費	175,000		
(3)	賃率差異	10,000	賃　　金	10,000
(4)	売上原価	25,000	賃率差異	25,000
(5)	賃率差異	5,000	売上原価	5,000
(6)	製造間接費	760,000	退職給付費用	760,000
(7)	製造間接費	780,000	従業員賃与手当	780,000

考え方

(4) 賃金の実際消費高が予定消費高より多い場合，賃率差異は借方に発生。

賃　率　差　異

当月発生高	35,000	前月繰越高	10,000

(7) 従業員賃与手当の月割額の計上は，製造間接費勘定で処理する。
¥4,680,000÷6か月＝¥780,000

6 経費の計算と記帳 ▷P.37～

6－1

支払経費～2，3，5，11，12，13
月割経費～1，6，7，9，10，15
測定経費～4，8，14
直接経費となるもの～3，15

考え方

支払経費は，実際の支払高にもとづいて消費高を計算する。
月割経費は，1年分または数か月分の支払高や計上高の月割高によって消費高を計算する。
測定経費は，計量器による測定量にもとづいて消費高を計算する。

6－2

a	製　造	b	製造間接費

6－3

費　目	当月支払高	前月		当月		当月消費高
		前払高	未払高	前払高	未払高	
外注加工賃	90,000		20,000	10,000		60,000
修繕料	38,000	14,000		11,000		41,000
旅費交通費	21,000	5,000			8,000	34,000
通信費	25,000		4,000		6,000	27,000

考え方

外注加工賃　¥90,000－¥20,000－¥10,000＝¥60,000
修繕料　¥38,000＋¥14,000－¥11,000＝¥41,000
旅費交通費　¥21,000＋¥5,000＋¥8,000＝¥34,000
通信費　¥25,000－¥4,000＋¥6,000＝¥27,000

6－4

修繕料

当座預金	90,000	前月繰越	40,000
次月繰越	30,000	製造間接費	80,000
	120,000		120,000

6－5

電力料	420,000	当座預金	420,000
製造間接費	360,000	電力料	450,000
販売費及び一般管理費	90,000		

電力料

当座預金	420,000	前月繰越	50,000
次月繰越	80,000	諸口	450,000
	500,000		500,000

電力料の当月未払高　¥ 80,000

考え方

¥450,000×$\frac{1}{5}$＝¥90,000
→営業部（販売費及び一般管理費勘定）へ
¥450,000－¥90,000＝¥360,000
→製造部（製造間接費勘定）へ

6－6

製　造	95,000	外注加工賃	95,000
製造間接費	189,000	修繕料	51,000
		旅費交通費	32,000
		減価償却費	35,000
		租税公課	8,000
		棚卸減耗損	3,000
		電力料	60,000

考え方

外注加工賃　¥90,000－¥25,000＋¥30,000＝¥95,000
修繕料　¥42,000＋¥5,000＋¥4,000＝¥51,000
旅費交通費　¥31,000＋¥3,000－¥2,000＝¥32,000

6－7

原価計算期末の仕訳	製造間接費	250,000	減価償却費	250,000
会計期末の仕訳	減価償却費	3,000,000	建物減価償却累計額	3,000,000

6－8

製　造

前月繰越	(485,000)		
素　材	1,804,000		
賃　金	2,319,000	製　品	(5,370,000)
外注加工賃	(320,000)		
特許権使用料	(50,000)		
製造間接費	(762,000)	次月繰越	(370,000)

製造間接費

工場消耗品	150,000		
給　料	300,000		
修繕料	(83,000)	製　造	(762,000)
電力料	(59,000)		
減価償却費	(170,000)		

製　品

前月繰越	(660,000)	売上原価	(5,620,000)
製　造	(5,370,000)		
		次月繰越	(410,000)

売上原価

製　品	(5,620,000)	損　益	(5,620,000)

考え方

①外注加工賃
当月支払高¥330,000＋前月前払高¥20,000－当月前払高¥30,000＝¥320,000
②修繕料
当月支払高¥82,000－前月未払高¥26,000＋当月未払高¥27,000＝¥83,000
③電力料　当月測定高¥59,000
①外注加工賃・④特許権使用料は直接経費→製造勘定へ
②修繕料・③電力料・⑤減価償却費は間接経費→製造間接費勘定へ

6－9

a	当月材料消費高	¥ 730,000	b	当月労務費消費高	¥ 700,000
c	当月経費消費高	¥ 150,000	d	当月売上原価	¥ 1,485,000

考え方

a．当月材料消費高
①素材
月初棚卸高¥230,000＋当月仕入高¥560,000－月末棚卸高¥170,000＝¥620,000
②工場消耗品
月初棚卸高¥52,000＋当月仕入高¥108,000－月末棚卸高¥50,000＝¥110,000
①素材¥620,000＋②工場消耗品¥110,000＝¥730,000

b．当月労務費消費高

③賃金

当月支払高¥470,000－前月未払高¥150,000＋当月未払高¥160,000＝¥480,000

③賃金¥480,000＋④給料¥150,000＋⑤従業員賞与手当¥70,000＝¥700,000

c．当月経費消費高

⑥外注加工賃

当月支払高¥80,000＋前月前払高¥20,000－当月前払高¥30,000＝¥70,000

⑦水道料　当月測定高¥50,000

⑥外注加工賃¥70,000＋⑦水道料¥50,000＋⑧減価償却費¥30,000＝¥150,000

d．当月売上原価

製　造

月初棚卸高	¥ 370,000		
材料費	¥ 730,000	当月製品製造原価	
労務費	¥ 700,000		¥1,555,000
経費	¥ 150,000		
	¥1,580,000	月末棚卸高	¥ 395,000

製　品

月初棚卸高	¥ 460,000	売上原価	
当月製品製造原価			¥1,485,000
	¥1,555,000	月末棚卸高	¥ 530,000

6－10

a	当期材料費 ¥ 2,120,000	b	当期労務費 ¥ 2,552,000
c	当期経費 ¥ 695,000	d	当期製品製造原価 ¥ 5,429,000

考え方

a．当期材料費

①素材

期首棚卸高¥260,000＋当期仕入高¥1,780,000－期末棚卸高¥300,000＝¥1,740,000

②工場消耗品

期首棚卸高¥120,000＋当期仕入高¥460,000－期末棚卸高¥200,000＝¥380,000

①素材¥1,740,000＋②工場消耗品¥380,000＝¥2,120,000

b．当期労務費

③賃金

当期支払高¥2,150,000－前期未払高¥79,000＋当期未払高¥81,000＝¥2,152,000

③賃金¥2,152,000＋④給料¥400,000＝¥2,552,000

c．当期経費

⑤外注加工賃

当期支払高¥208,000＋前期前払高¥46,000－当期前払高¥50,000＝¥204,000

⑥修繕料

当期支払高¥164,000－前期未払高¥31,000＋当期未払高¥28,000＝¥161,000

⑦電力料　当期測定高¥200,000

⑤外注加工賃¥204,000＋⑥修繕料¥161,000＋⑦電力料¥200,000＋⑧減価償却費¥130,000＝¥695,000

d．当期製品製造原価

製　造

期首棚卸高	¥ 725,000		
材料費	¥2,120,000	当月製品製造原価	
労務費	¥2,552,000		¥5,429,000
経費	¥ 695,000		
	¥5,367,000	期末棚卸高	¥ 663,000

6－11

(1)	電力料	110,000	当座預金	172,000
	修繕料	62,000		
(2)	製造	420,000	外注加工賃	420,000
	製造間接費	98,000	修繕料	98,000
(3)	製造	120,000	特許権使用料	120,000
(4)	製造間接費	90,000	減価償却費	90,000
(5)	製造間接費	172,000	水道料	215,000
	販売費及び一般管理費	43,000		
(6)	製造	635,000	外注加工賃	635,000
(7)	製造間接費	164,000	電力料	205,000
	販売費及び一般管理費	41,000		
(8)	製造	250,000	外注加工賃	250,000
	製造間接費	140,000	水道料	140,000

6－12

(1)	当月素材消費高	¥	520,000
(2)	当月賃金消費高	¥	380,000
(3)	当月外注加工賃消費高	¥	60,000
(4)	当月製造間接費発生高	¥	340,000

考え方

(1) 当月素材消費高

月初棚卸高¥230,000＋当月仕入高¥460,000

－月末棚卸高¥170,000＝¥520,000

素材の間接消費高

¥520,000－¥480,000＝¥40,000

当月工場消耗品消費高

月初棚卸高¥42,000＋当月仕入高¥98,000

－月末棚卸高¥40,000＝¥100,000

(2) 当月賃金消費高

当月支払高¥370,000－前月未払高¥40,000

＋当月未払高¥50,000＝¥380,000

賃金の間接消費高

¥380,000－¥300,000＝¥80,000

(3) 当月外注加工賃消費高

当月支払高¥70,000＋前月前払高¥10,000

－当月前払高¥20,000＝¥60,000

(4) 当月製造間接費発生高

素材¥40,000＋工場消耗品¥100,000＋賃金¥80,000

＋従業員賞与手当¥60,000＋電力料当月測定高¥40,000

＋減価償却費¥20,000＝¥340,000

6－13

a	当期工場消耗品消費高	¥	380,000
b	当期労務費	¥	6,070,000
c	当期経費	¥	1,090,000
d	売上原価	¥	10,120,000

考え方

a．当期工場消耗品消費高

期首棚卸高¥40,000＋当期仕入高¥392,000

－期末棚卸高¥52,000＝¥380,000

b．当期労務費

賃金（当期実際消費高）¥4,960,000－賃率差異（借方残）¥50,000＋給料¥1,160,000＝¥6,070,000

c．当期経費

外注加工賃¥443,000＋電力料¥280,000

＋減価償却費¥367,000＝¥1,090,000

d．売上原価

当期材料費¥2,516,000＋当期労務費¥6,070,000

＋当期経費¥1,090,000＋仕掛品（¥789,000

－¥489,000）＋製品（¥910,000－¥816,000）

＋賃率差異¥50,000＝¥10,120,000

7 個別原価計算と原価計算表と製造勘定 ▷P.43～

7－1

製造指図書＃13　　原価計算表

直接材料費	直接労務費	直接経費	製造間接費
150,000	160,000	30,000	70,000
45,000	155,000	—	—
195,000	315,000	30,000	70,000

集計	
直接材料費	195,000
直接労務費	315,000
直接経費	30,000
製造間接費	70,000
製造原価	610,000

7－2

製造指図書＃1　　原価計算表

直接材料費	直接労務費	直接経費	製造間接費
330,000	580,000	50,000	340,000

集計		
摘要		金額
直接材料費		330,000
直接労務費		580,000
直接経費		50,000
製造間接費		340,000
製造原価		1,300,000
完成品数量		200 個
製品単価	¥	6,500

製造指図書＃2　　原価計算表

直接材料費	直接労務費	直接経費	製造間接費
140,000	250,000	70,000	115,000

集計	
摘要	金額
直接材料費	

7－3

(1)

材料消費	製造	470,000	材料	565,000
	製造間接費	95,000		
労務費消費	製造	830,000	労務費	1,000,000
	製造間接費	170,000		
経費消費	製造	120,000	経費	310,000
	製造間接費	190,000		
間接費配賦	製造	455,000	製造間接費	455,000
製品完成	製品	1,300,000	製造	1,300,000

(2)

製造					
6／30	材料	470,000	6／30	製品	1,300,000
〃	労務費	830,000	〃	次月繰越	575,000
〃	経費	120,000			
〃	製造間接費	455,000			
		1,875,000			1,875,000

8 製造間接費の配賦 ▷P.46～

8－1

(1)

配賦率

〈式〉 $\frac{¥420,000}{¥525,000}\times100=80\%$ 〈配賦率〉 80 %

製造間接費配賦表

平成○年4月分

平○	成年	製造指図書番号	配賦率	配賦基準(直接材料費)	配賦額	備考
4	30	#1	80 %	200,000	160,000	
	〃	#2	80 %	225,000	180,000	
	〃	#3	80 %	100,000	80,000	
				525,000	420,000	

製造	420,000	製造間接費	420,000

(2)

配賦率

〈式〉 $\frac{¥420,000}{¥700,000}\times100=60\%$ 〈配賦率〉 60 %

製造指図書#1への配賦額

〈式〉 ¥280,000×0.6=¥168,000 〈配賦額〉 ¥168,000

製造指図書#2への配賦額

〈式〉 ¥320,000×0.6=¥192,000 〈配賦額〉 ¥192,000

(3)

配賦率

〈式〉 $\frac{¥420,000}{¥525,000+¥700,000+¥175,000}\times100=30\%$ 〈配賦率〉 30 %

製造指図書#2への配賦額

〈式〉 (¥225,000+¥320,000+¥85,000)×0.3=¥189,000 〈配賦額〉 ¥189,000

製造指図書#3への配賦額

〈式〉 (¥100,000+¥100,000)×0.3=¥60,000 〈配賦額〉 ¥60,000

(4)

配賦率

〈式〉 $\frac{¥420,000}{1,500時間}=¥280$ 〈配賦率〉 ¥ 280

製造指図書#1への配賦額

〈式〉 580時間×¥280=¥162,400 〈配賦額〉 ¥162,400

製造指図書#2への配賦額

〈式〉 620時間×¥280=¥173,600 〈配賦額〉 ¥173,600

(5)

配賦率(機械率)

〈式〉 $\frac{¥420,000}{1,050時間}=¥400$ 〈配賦率(機械率)〉 ¥ 400

製造指図書#1への配賦額

〈式〉 420時間×¥400=¥168,000 〈配賦額〉 ¥168,000

製造指図書#3への配賦額

〈式〉 190時間×¥400=¥76,000 〈配賦額〉 ¥76,000

考え方

直接作業時間法の配賦率は直接作業時間1時間あたりの金額をあらわし，機械運転時間法の配賦率(機械率)は機械運転時間1時間あたりの金額をあらわす。

8－2

a	当月素材消費高	¥	1,500,000
b	当月賃金消費高	¥	1,888,000
c	A製品(製造指図書#1)の製造間接費配賦額	¥	324,000
d	B製品(製造指図書#2)の製品単価(単位原価)	¥	4,152

考え方

a．¥250,000+¥1,520,000−¥270,000=¥1,500,000

b．¥1,968,000−¥310,000+¥230,000=¥1,888,000

c．製造間接費発生高

当月間接材料費発生高

素材 ¥1,500,000−(¥580,000+¥690,000)
=¥230,000

工場消耗品 ¥60,000+¥210,000−¥58,000
=¥212,000

当月間接労務費発生高

賃金 ¥1,888,000−(¥810,000+¥990,000)
=¥ 88,000

当月間接経費発生高 ¥190,000

合計 ¥720,000

A製品の製造間接費配賦額

$¥810,000\times\frac{¥720,000}{¥810,000+¥990,000}=¥324,000$

d．B製品(製造指図書#2)の製造原価

B製品(製造指図書#2)の製造間接費配賦額

$¥990,000\times\frac{¥720,000}{¥810,000+¥990,000}=¥396,000$

¥690,000(材料)+¥990,000(賃金)+¥396,000
=¥2,076,000

B製品の製品単価

¥2,076,000÷500個=¥4,152

8－3

(1)

6月9日		素　　材	1,220,000	当座預金	570,000
		工場消耗品	90,000	買掛金	740,000
11日		製　　造	1,500,000	素　　材	1,500,000
16日		外注加工賃	130,000	当座預金	285,000
		電力料	80,000		
		雑　　費	75,000		
25日		賃　　金	975,000	所得税預り金	64,000
				健康保険料預り金	42,000
				当座預金	869,000
30日	①	製造間接費	72,000	工場消耗品	72,000
	②	製　　造	870,000	消費賃金	1,015,000
		製造間接費	145,000		
	③	製造間接費	42,000	健康保険料	42,000
	④	製　　造	100,000	外注加工賃	100,000
		製造間接費	221,000	電力料	75,000
				保険料	18,000
				減価償却費	83,000
				雑　　費	45,000
	⑤	製　　造	480,000	製造間接費	480,000
	⑥	製　　品	3,300,000	製　　造	3,300,000
	⑦	消費賃金	1,005,000	賃　　金	1,005,000
	⑧	消費賃金	10,000	賃率差異	10,000

(2)

製　　造

6／1	前月繰越 2,160,000	6／30	製　品 3,300,000
11	素　材 1,500,000	〃	次月繰越 1,810,000
30	消費賃金 870,000		
〃	外注加工賃 100,000		
〃	製造間接費 480,000		
	5,110,000		5,110,000

製造間接費

6／30	工場消耗品 72,000	6／30	製　造 480,000
〃	消費賃金 145,000		
〃	健康保険料 42,000		
〃	諸　口 221,000		
	480,000		480,000

(3)

製造指図書＃1　　原価計算表

直接材料費	直接労務費	直接経費	製造間接費	集計 摘要	集計 金額
810,000	990,000	90,000	270,000	直接材料費	1,410,000
600,000	348,000	——	192,000	直接労務費	1,338,000
1,410,000	1,338,000	90,000	462,000	直接経費	90,000
				製造間接費	462,000
				製造原価	3,300,000
				完成品数量	3,000 個
				製品単価	¥ 1,100

(4)

当月賃金未払高	¥	240,000

考え方

11日　素材の消費高の計算（移動平均法）

$\frac{¥580,000+¥1,220,000}{1,000個+2,000個}=¥600$…消費単価

¥600×(1,000個＋1,500個)＝¥1,500,000…消費高

30日　①工場消耗品消費高（棚卸計算法）

(200個＋500個－300個)×¥180＝¥72,000

②当月賃金予定消費高…¥1,015,000

(600時間＋900時間)×¥580＝¥870,000…製造

250時間×¥580＝¥145,000…製造間接費

③¥42,000…製造間接費

④間接経費　¥75,000＋¥18,000＋¥83,000＋¥45,000

＝¥221,000

⑤製造間接費配賦額（直接材料費法）

製造指図書＃1への配賦額

$(1,000個\times¥600)\times\frac{¥480,000}{(1,000個\times¥600)+(1,500個\times¥600)}$

＝¥192,000

製造指図書＃2への配賦額

$(1,500個\times¥600)\times\frac{¥480,000}{(1,000個\times¥600)+(1,500個\times¥600)}$

＝¥288,000

⑧賃金実際消費高(¥1,005,000)＜賃金予定消費高(¥1,015,000)

賃率差異(¥10,000)は貸方に発生

(4)

賃　　金

当月支払高	975,000	前月未払高	210,000
当月未払高	240,000	当月実際消費高	1,005,000
	1,215,000		1,215,000

8－4

a	製造指図書＃1の製造間接費配賦額	¥	560,000	
b	製　造	3,360,000	製造間接費	3,360,000

考え方

配賦率　$\frac{¥3,360,000}{¥6,000,000}\times100=56\%$

製造指図書＃1の配賦額　¥1,000,000×0.56＝¥560,000

8－5

a	当月の材料消費高	¥	1,405,000
b	当月の労務費消費高	¥	1,290,000
c	B製品（製造指図書＃2）の製造間接費配賦額	¥	309,000
d	A製品（製造指図書＃1）の完成品原価	¥	1,852,000

考え方

a．(¥205,000＋¥1,230,000－¥160,000)＋(¥45,000＋¥124,000－¥39,000)＝¥1,405,000

b．(¥1,074,000－¥180,000＋¥170,000)＋¥226,000＝¥1,290,000

c．(¥1,405,000－¥660,000－¥590,000)＋(¥1,290,000－¥480,000－¥440,000)＋¥126,000＝¥651,000（製造間接費）

$(¥590,000+¥440,000)\times\frac{¥651,000}{(¥660,000+¥480,000)+(¥590,000+¥440,000)}$＝¥309,000

d．$(¥660,000+¥480,000)\times\frac{¥651,000}{(¥660,000+¥480,000)+(¥590,000+¥440,000)}$＝¥342,000（A製品の製造間接費配賦額）

月初仕掛品¥370,000＋(¥660,000＋¥480,000＋¥342,000)＝¥1,852,000

9 製造間接費の予定配賦 ⊙P.52～

9－1

(1)	製　造	468,000	製造間接費	468,000
(2)	製造間接費	480,000	材　料 労務費 経　費	220,000 180,000 80,000
(3)	製造間接費配賦差異	12,000	製造間接費	12,000
(4)	売上原価	12,000	製造間接費配賦差異	12,000

9－2

製　造

前期繰越	260,000	製　品	(7,030,000)
素　材	1,850,000	次期繰越	330,000
賃　金	(2,800,000)		
外注加工賃	350,000		
製造間接費	(2,100,000)		
	(7,360,000)		(7,360,000)

製造間接費

工場消耗品	(170,000)	製　造	(2,100,000)
賃　金	(400,000)	製造間接費配賦差異	(31,000)
給　料	990,000		
退職給付費用	115,000		
減価償却費	260,000		
電力料	188,000		
棚卸減耗損	(8,000)		
	(2,131,000)		(2,131,000)

考え方

①棚卸減耗損　(500個－460個)×@¥200＝¥8,000

②工場消耗品　¥30,000＋¥180,000－¥40,000＝¥170,000

③直接賃金　@¥800×3,500時間＝¥2,800,000

　間接賃金　@¥800×500時間＝¥400,000

④製造間接費予定配賦額

　@¥600×3,500時間＝¥2,100,000

9－3

a	変動費率	¥ 700
b	固定費率	¥ 800
c	製造間接費配賦差異	¥ 175,000(借方)
d	予算差異	¥ 55,000(借方)
e	操業度差異	¥ 120,000(借方)

考え方

a．¥1,400,000÷2,000時間＝¥700(変動費予算額÷基準操業度)

b．¥1,600,000÷2,000時間＝¥800(固定費予算額÷基準操業度)

c．(¥700＋¥800)×1,850時間－¥2,950,000
＝－¥175,000〔不利差異〕

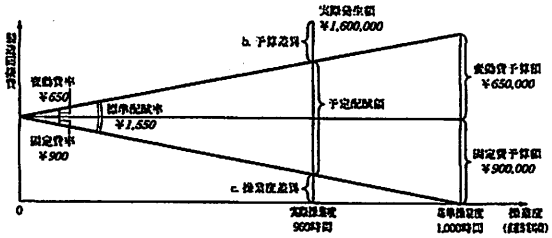
d．(¥700×1,850時間)＋¥1,600,000－¥2,950,000
＝－¥55,000〔不利差異〕

e．(1,850時間－2,000時間)×¥800＝－¥120,000〔不利差異〕

9－4

a	製造間接費配賦差異	¥ 112,000(不利)
b	予算差異	¥ 76,000(不利)
c	操業度差異	¥ 36,000(不利)

考え方



変動費率　¥650,000÷1,000時間＝¥650

固定費率　¥900,000÷1,000時間＝¥900

a．(¥650＋¥900)×960時間－¥1,600,000
＝－¥112,000〔不利差異〕

b．(¥650×960時間)＋¥900,000－¥1,600,000
＝－¥76,000〔不利差異〕

c．(960時間－1,000時間)×¥900＝－¥36,000〔不利差異〕

9－5

(1)	製造	352,000	製造間接費	352,000
(2)	製造間接費	2,000	製造間接費配賦差異	2,000
(3)	売上原価	25,000	製造間接費配賦差異	25,000

9－6

(1)	製造間接費配賦差異	54,000	売上原価	54,000
(2)	売上原価	73,000	製造間接費配賦差異	73,000

考え方

(1) 実際発生額(¥2,470,000)＞予定配賦額(¥2,460,000)
製造間接費配賦差異は借方に発生。

製造間接費配賦差異

当月発生	10,000	前月繰越	64,000
売上原価	54,000		

(2) 実際発生額が予定配賦額より¥5,000多いので，製造間接費配賦差異は借方に発生。

製造間接費配賦差異

前月繰越	68,000	売上原価	73,000
当月発生	5,000		

9－7

(1)

12／5		材料	50,000	買掛金	50,000
10		製造	21,600	材料	25,600
		製造間接費	4,000		
25		外注加工賃	17,000	当座預金	26,000
		電力料	9,000		
28		賃金	68,000	所得税預り金	1,200
				健康保険料預り金	2,000
				当座預金	64,800
31	Ⅰ	製造	45,000	賃金	67,000
		製造間接費	22,000		
	Ⅱ	製造	44,000	製造間接費	44,000
	Ⅲa	製造間接費	8,300	保険料	900
				減価償却費	7,400
	Ⅲb	製造間接費	10,300	電力料	10,300
	Ⅲc	製造	15,000	外注加工賃	15,000
	Ⅳ	製造間接費	2,000	健康保険料	2,000
	Ⅴ	製品	88,500	製造	88,500

(2)

a．　外注加工賃

12／1	前月繰越	1,000	12／31	製造	15,000
25	当座預金	17,000			

b．　健康保険料

		12／31	製造間接費	2,000

(3)

a	当月賃金未払高	¥ 12,000
b	製造間接費配賦差異	¥ 2,600

考え方

(3) a．当月賃金未払高は，賃金勘定の貸方の残高である。

b．製造間接費配賦差異は，製造間接費勘定の借方と貸方の差額である。

賃　金

12／28	68,000	12／1	13,000
31	(12,000)	31	67,000
	80,000		80,000

製造間接費

12／10	4,000	12／31	44,000
31	22,000		(2,600)
〃	8,300		
〃	10,300		
〃	2,000		

9－8

(1)

1月8日		素　　材	1,740,000	当座預金	400,000
		工場消耗品	120,000	買掛金	1,460,000
11日		製　　造	1,995,000	素　　材	1,995,000
16日		外注加工賃	130,000	当座預金	269,000
		電力料	73,000		
		雑　　費	66,000		
20日		製　　品	2,160,000	製　　造	2,160,000
25日		賃　　金	962,000	所得税預り金	64,000
				健康保険料預り金	37,000
				当座預金	861,000
31日	①	製造間接費	90,000	工場消耗品	90,000
	②	製　　造	840,000	消費賃金	952,000
		製造間接費	112,000		
	③	製造間接費	37,000	健康保険料	37,000
	④	製　　造	150,000	外注加工賃	150,000
		製造間接費	303,000	電力料	89,000
				保険料	35,000
				減価償却費	133,000
				雑　　費	46,000
	⑤	製　　造	525,000	製造間接費	525,000
	⑥	消費賃金	944,000	賃　　金	944,000
	⑦	消費賃金	8,000	賃率差異	8,000
	⑧	製造間接費配賦差異	17,000	製造間接費	17,000

(2)

製　造

1／1	前月繰越	486,000	1／20	製　品	2,160,000
11	素　材	1,995,000	31	次月繰越	1,836,000
31	消費賃金	840,000			
〃	外注加工賃	150,000			
〃	製造間接費	525,000			
		3,996,000			3,996,000

製造間接費

1／31	工場消耗品	90,000	1／31	製　造	525,000
〃	消費賃金	112,000	〃	製造間接費配賦差異	17,000
〃	健康保険料	37,000			
〃	諸　口	303,000			
		542,000			542,000

(3)

製造指図書＃1　　原価計算表

直接材料費	直接労務費	直接経費	製造間接費
255,000	105,000	70,000	56,000
855,000	504,000	—	315,000
1,110,000	609,000	70,000	371,000

集計 摘要	金額
直接材料費	1,110,000
直接労務費	609,000
直接経費	70,000
製造間接費	371,000
製造原価	2,160,000
完成品数量	4,000 個
製品単価	¥ 540

考え方

(1) 1月11日　素材消費高（移動平均法）

$\frac{¥825,000+¥1,740,000}{1,500個+3,000個}=¥570$

＃1　¥570×1,500個＝¥855,000

＃2　¥570×2,000個＝¥1,140,000

¥855,000＋¥1,140,000＝¥1,995,000

31日①工場消耗品消費高（棚卸計算法）

(450個＋1,000個－700個)×¥120＝¥90,000

②賃金予定消費高

＃1　¥560×900時間＝¥504,000

＃2　¥560×600時間＝¥336,000

間接　¥560×200時間＝¥112,000

⑦賃率差異

実際消費高(¥944,000)＜予定消費高(¥952,000)

賃率差異¥8,000は貸方に発生

⑧製造間接費配賦差異

実際発生額(¥542,000)＞予定配賦額(¥525,000)

製造間接費配賦差異¥17,000は借方に発生

9－9

(1)

1月6日		製　造	900,000	素　材	900,000
9日		素　材	1,275,000	買掛金	1,525,000
		工場消耗品	250,000		
16日		外注加工賃	80,000	当座預金	350,000
		電力料	150,000		
		雑　費	120,000		
20日		製　造	790,000	素　材	790,000
22日		製　品	2,730,000	製　造	2,730,000
25日		売掛金	3,300,000	売　上	3,300,000
		売上原価	2,730,000	製　品	2,730,000
30日		賃　金	1,435,000	所得税預り金	115,000
				健康保険料預り金	60,000
				当座預金	1,260,000
31日	①	製造間接費	225,000	工場消耗品	225,000
	②	製　造	1,224,000	賃　金	1,428,000
		製造間接費	204,000		
	③	製造間接費	60,000	健康保険料	60,000
	④	製　造	90,000	外注加工賃	90,000
		製造間接費	448,000	減価償却費	173,000
				電力料	170,000
				雑　費	105,000
	⑤	製　造	972,000	製造間接費	972,000
	⑥	賃率差異	12,000	賃　金	12,000
	⑦	製造間接費	35,000	製造間接費配賦差異	35,000

(2)

賃　金

1／30 諸　口	1,435,000	1／1 前月繰越	187,000
31 次月繰越	192,000	31 諸　口	1,428,000
		◆賃率差異	12,000
	1,627,000		1,627,000

製　造

1／1 前月繰越	854,000	1／22 製　品	2,730,000
6 素　材	900,000	31 次月繰越	2,100,000
20 素　材	790,000		
31 賃　金	1,224,000		
◆外注加工賃	90,000		
◆製造間接費	972,000		
	4,830,000		4,830,000

(3)

製造指図書＃1　　原　価　計　算　表

直接材料費	直接労務費	製造間接費	集計 摘要	集計 金額
525,000	194,000	135,000	直接材料費	1,425,000
900,000	544,000	432,000	直接労務費	738,000
1,425,000	738,000	567,000	製造間接費	567,000
			製造原価	2,730,000
			完成品数量	1,500 個
			製品単価	¥ 1,820

考え方

1月6日　素材消費高（先入先出法）
¥750×1,200個＝¥900,000
20日　素材消費高（先入先出法）
¥750×600個＝¥450,000
¥850×400個＝¥340,000
¥450,000＋¥340,000＝¥790,000
31日①工場消耗品消費高（棚卸計算法）
500個＋1,000個－600個＝900個
¥250×900個＝¥225,000
②賃金予定消費高
＃1　¥680×800時間＝¥544,000
＃2　¥680×1,000時間＝¥680,000
間接　¥680×300時間＝¥204,000

⑤製造間接費予定配賦額
¥11,340,000÷21,000時間＝¥540
＃1　¥540×800時間＝¥432,000
＃2　¥540×1,000時間＝¥540,000
⑥賃率差異
実際消費高（¥1,440,000）＞予定消費高（¥1,428,000）
賃率差異¥12,000は借方に発生
⑦製造間接費配賦差異
実際発生額（¥937,000）＜予定配賦額（¥972,000）
製造間接費配賦差異¥35,000は貸方に発生

10 仕損品・作業くずの処理 ▷P.60～

10－1

(1)	仕損費	92,200	素材	25,000
			賃金	60,000
			製造間接費	7,200
(2)	製造	92,200	仕損費	92,200
(3)	仕損品	180,000	製造	300,000
	仕損費	120,000		
(4)	製造間接費	120,000	仕損費	120,000
(5)	仕損費	150,000	製造	150,000
(6)	作業くず	27,000	製造	27,000
(7)	作業くず	30,000	製造間接費	30,000
(8)	現金	6,000	雑益	6,000

10－2

(1)	仕損費	91,000	素材	28,000
			賃金	46,000
			製造間接費	17,000
(2)	仕損費	170,000	製造	170,000
(3)	仕損品	89,000	製造	860,000
	仕損費	771,000		
(4)	製造	282,000	仕損費	282,000
(5)	作業くず	30,000	製造間接費	30,000
(6)	現金	2,000	雑益	2,000

考え方

(6) 発生がわずかで評価されていない作業くずは，売却したときに「雑益勘定」で処理する。

第4章 原価の部門別計算

11 部門別計算と記帳 ▷P.63～

11－1

部門費配分表

平成○年7月分

費目	配賦基準	金額	製造部門		補助部門		
			第1部門	第2部門	動力部門	修繕部門	工場事務部門
部門個別費							
間接材料費		540,000	240,000	160,000	80,000	60,000	—
間接賃金		520,000	180,000	150,000	60,000	40,000	90,000
部門個別費計		1,060,000	420,000	310,000	140,000	100,000	90,000
部門共通費							
間接賃金	従業員数	450,000	200,000	175,000	30,000	20,000	25,000
減価償却費	床面積	150,000	54,000	42,000	24,000	12,000	18,000
部門共通費計		600,000	254,000	217,000	54,000	32,000	43,000
部門費合計		1,660,000	674,000	527,000	194,000	132,000	133,000

第1製造部門費	674,000	製造間接費	1,660,000
第2製造部門費	527,000		
動力部門費	194,000		
修繕部門費	132,000		
工場事務部門費	133,000		

考え方

第1製造部門への配賦額の計算

間接賃金 ¥450,000×$\frac{40人}{40人+35人+6人+4人+5人}$=¥200,000

減価償却費 ¥150,000×$\frac{90㎡}{90㎡+70㎡+40㎡+20㎡+30㎡}$=¥54,000

11－2

部門費振替表

直接配賦法

平成○年5月分

部門費	配賦基準	金額	製造部門		補助部門		
			第1部門	第2部門	動力部門	修繕部門	工場事務部門
部門費合計		2,578,000	934,000	768,000	252,000	288,000	336,000
動力部門費	kW数×運転時間数	252,000	126,000	126,000			
修繕部門費	修繕回数	288,000	216,000	72,000			
工場事務部門費	従業員数	336,000	168,000	168,000			
配賦額合計		876,000	510,000	366,000			
製造部門費合計		2,578,000	1,444,000	1,134,000			

考え方

第1製造部門への配賦額の計算

動力部門費 ¥252,000×$\frac{5kW×200時間}{5kW×200時間+2kW×500時間}$=¥126,000

修繕部門費 ¥288,000×$\frac{9回}{9回+3回}$=¥216,000

工場事務部門費 ¥336,000×$\frac{24人}{24人+24人}$=¥168,000